

中間処理施設 [熱回収(焼却)施設]

最新のごみ焼却技術により 高度な処理を可能にしたシステムです。

これまで、主に直接埋立処分されてきた可燃ごみからエネルギー回収（熱回収率10%以上）を図りながら、最終処分量の大幅な減量・減容化を図ります。

熱回収とは？

ごみを燃やすだけでなく、得られた熱を回収して水を暖め、敷地内の主要な箇所の雪を溶かすなど、有効に利用します。

煙突の白煙について

煙突から出る白煙は、冬場などの気温が低い時に排ガス中の水分(水蒸気)が結露して白く見えているものです。排ガス中の水分は、元々ごみに含まれていた水分と、排ガスの温度を下げるために使用した水によるもので、環境への影響はありません。

水蒸気と煙の違い

煙突から排出されているものが水蒸気の場合、煙突の出口直後は透明ですが、外気で冷却されるため少し上のほうで白く煙ったように見えます。これに対して、一般的に煙と呼ばれる『ばい煙』類の場合、透明な部分が全くなく、煙突の出口直後から白煙や黒煙が見えます。

熱回収設備の設置

融雪用熱供給設備を設置し、ロードヒーティングを行います。また、余熱を利用して場内給湯や暖房等に有効利用します。



温水発生装置



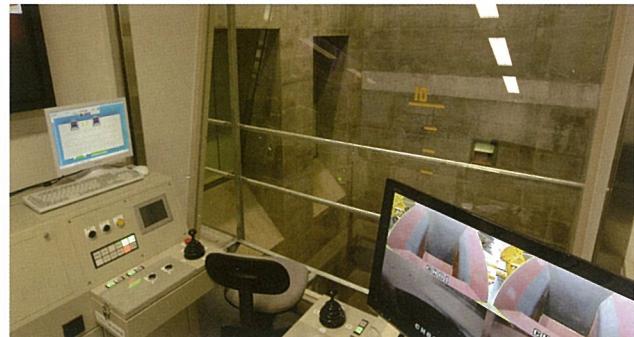
ロードヒーティング

安全監視

中央操作室では、各設備の稼働状況と排ガス等のモニタリングを行い、安全で確実な運転を管理します。



中央操作室



ごみクレーン操作盤

公害防止基準

測定項目	法規制値	自主規制値
ばいじん	0.15g／m ³ N 以下	0.01g／m ³ N 以下
塩化水素	700mg／m ³ (=430ppm) 以下	100ppm 以下
硫黄酸化物	K 値 17.5 (=5,004ppm) 以下	100ppm 以下
窒素酸化物	250ppm 以下	150ppm 以下
一酸化炭素	30ppm 以下(4 時間平均)*	30ppm 以下(4 時間平均)
ダイオキシン類	5ng-TEQ／m ³ N 以下	0.1ng-TEQ／m ³ N 以下

*「ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドライン」

熱回収施設(焼却施設)の排ガス状況		2013年07月26日(金) 19:59		
測定項目	測定項目 (単位)	法規制値	自主規制値	ごろ 1月均 2月均
ばいじん (g/m ³ N)	0.15 以下	0.01 以下	0.000	0.000
塩化水素 (ppm)	430 以下	100 以下	0	3
硫黄酸化物 (ppm)	5004 以下	100 以下	10	8
窒素酸化物 (ppm)	250 以下	150 以下	56	50
一酸化炭素 (ppm)	30 以下*	30 以下	1	1
ダイオキシン類 (ng TEQ/m ³ N)	5.00 以下	0.10 以下	0.0028	0.0001

公害監視モニター

排ガス中の有害物質やダイオキシン類等の発生を抑えるため、高度な公害防止設備を備えています。また、ごみの燃焼で発生した熱を有効活用します。

処理フローシート

